

蓬萊町だより

第三十二号
平成四年五月三十日
発行 蓬萊町会
編集 文部

蓬萊町界限(その二十八)

本郷区・小石川区の縁日

林 順信

●戦前は方々で市が立った。

今年も根津神社の「文京つゝじ祭」が盛大に行われた。訪れる観客は年を追って増加の一端を辿り、地元の我々としては歩道を行くのに余計に時間がかかるが、氏神さまの人気だから苦にはならない。四月十二日と五月五日と長期間にわたって、参道に露店が立ち並ぶが、昔はこんなことはなかった。「つゝじ祭」は昭和四十五年からの行事だからである。

戦前のことを思い出してみると、根津神社に夜店が出たのは、毎月の六日と二十一日の二回あったと思う。戦後も暫らくは、春と夏だけは六日と二十一日の二度の露店市が立ったと思うのだが……。

確かに戦前は東京に限らず、各地で縁日や祭礼の市が立っていた。神社仏閣の市を「高市」

と書いて「たかまち」と言い、商うのは露天商で、通訳「テキヤ」とも「三寸」とも言っている。よく世間では誤解しているが、露天商は親分を中心に一家を構えていて、上下関係はきびしいが、立派な生業であって、決してヤクザではない。相当に昔から「神農の神」を信奉して来ている。大昔は薬草や香料などを売ったので「香具師」ともいわれている。その商売用語は「符丁」としてなかなか興味深いものがある。

戦前から比べると露店で売っている品物も大はん異って来ている。細かい品物の話は何れの機会にゆずり、戦前昭和十年頃の本郷区と小石川区で、どれほどの縁日があり露天が出ていたのかを整理してみた。戦前はさして娯楽もなかった頃なので、方々に露天が出されていた。

■本郷区

- 高市 黒天 駒込橋、電車通東へ
出店日 二、十七、二二、甲子の日
- 三河 神社 本郷二丁弓町、元町
出店日 三、九、十三、十九、二三、二九(三九さまという)
- 根津 神社 同社より電車通りまで
出店日 六、二一
- 道了 尊 追分町市電停留所前
出店日 (日付は不詳)
- 大観音境内並びに本郷肴町、団子坂上
出店日 七月九、十日
- 湯島 天神 天神鳥居より南へ七四間
出店日 十、二五

■小石川区

- 金比羅 元町二丁目
出店日 十、二二
- 閻魔堂 駒込追分町
出店日 七月十五、十六日
- 桜木 神社 本郷真砂町
出店日 九月二四、二五日
- 本郷 薬師 本郷四丁目
出店日 八
- 神明 神社 駒込神明町
出店日 九月十五日
- 富士 神社 駒込富士見町
出店日 六月三十日、七月一日
- 高市 伝通院大黒天 表町、久堅町
出店日 三、十九
- 秋葉 神社 小日向神社境内、服部坂
出店日 三、十三、二三
- 大日 如来 水道町、大日坂並びに境内
出店日 三、八、十八、二八
- 大鳥 神社 境内、西丸町、宮下町
出店日 三、十三、十一月西の日
- 吹上 稲荷 大塚坂下町
出店日 四、二二
- こんやく 閻魔 境内、初音町界限
出店日 七、十六、二六
- 白山 神社 同社境内
出店日 八、二一
- 観世音 護国寺境内
出店日 十七
- 十羅卒 境内、宮仲裏通
出店日 七、十七、二七
- お七 地藏 白山下、指谷町裏通
出店日 五、二十
- 氷川 神社 同社境内、氷川下町
出店日 九、十

年輪を重ねて（前号のつづき）

内海 元

（根津神社名譽宮司）

しかも父は本殿が焼けて三日後に死んだとのこと。

しかし、火はこの御社殿だけを焼いても、街は残っています。昔からの氏子の皆さまもいます。何としても復興するのだ、私は復員早々に決心をしました。

焼失した国宝の復元

復員した私は、それから直ちに御社殿復興の事業にとりかかるとは、もちろん神社に資金などは全くなく、私自身の生活を確保しながらこの難事に取り組まねばなりません。そこでまづ、文京学園と富士見学園という二つの学校に勤めながら復興の事業にあたることにしました。

まづ、御社殿は昭和六年に国宝に指定されています。この焼けてしまった御社殿を国宝の修復事業として再建することができたら、負担が最小にて大きな成果をあげることができま。私は色々と当時の文部省の方々に氏子の方とともども何とか実現してくれないかと交渉に行きました。「そんな無茶な、焼けてしまった国宝の修築という名の再建なんて」との御意見に対し

ては、僅かばかり残った拝殿の前部大床をもとに復旧を説きました。特に文部省の大岡博士が大変に努力して下さり、御神慮をいただいてこの話がまとまり、私の復員五カ月後の昭和二十一年十月には文部省より技師の差遣を得て、焼損した社殿を慎重に測量しながら順次解体する作業がはじまりました。

これが足がかりとなって復旧の事業がはじまるのですが、当時の世情を振り返って、こんな事業ができたのは、文部省の大岡博士、氏子の土地の人々の変らぬ神社に捧げる崇敬心と団結力が、無用の混乱と言いますか、邪魔を未然に防いだのだと、しみじみと思う次第です。

御社殿復興が決まりました。私は昭和二十五年二月、根津神社復旧奉賛会を組織、井形文京区長に会長に就任願って募金活動をはじめました。氏子とはありがたいものです。皆さまが協力して精いっぱい募財活動をおこない、奉賛を賜りました。募財は必ずしも安易ではなく、色々と苦労もありましたが、そして戦前と神社の制度は大きく変わりましたが、しかしそれは制度の問題で、氏子の皆さまと神社とのつながりは全く変わりません。これは東京の民社の宮司として、私は胸を張って断言できる事実です。

社殿の修復は昭和二十五年四月、拝殿修理工事をはじめ、二十九年終了、直ちに本殿、幣殿工事にとりかかり、三十四年の三月まで、九年

間を要しましたが、順調にすべてが完了しました。加へて、昭和三十一年六月、かねて運動中の楼門や唐門、西門、透塀や唐金灯笼一対までが重要文化財の指定をうけました。なほこの間、昭和二十八年八月、末社稻荷神社社殿を新たに、造営いたしました。

引きつづき楼門、唐門、

西門、透塀等の修理

かくて神社では昭和三十四年四月より、ここに新たに重文の指定をうけた楼門、西門、透塀などの修造工事を着々と進め、三十七年には重文建造物のすべてを改修、引きつづき境内整備に入りますが、この長い行程において、すべての工事が順調に進んだのは私の努力というのではなく、御神慮の賜であり、神社を崇敬する氏子、総代の方であったことを特記しておきたいと思ひます。

かく御社殿をはじめ諸建造物の修理を終へて、境内整備の事業にかかりました。

何しろ長い間、手が廻らぬため、境内は荒れ放題、まづ境内の三池および植込の周囲に氏子等の皆さまより石の玉垣四百メートルを御奉納いただき、楼門より正面鳥居ならびに末社鳥居まで七十メートルに花崗岩敷石、また偶々当時都電が廃止されたので、その敷石の払下げをう

け、境内の敷石四百六十メートルをはじめ各所に石堀、またつつじ苑との境にコンクリート柵二百メートル、防火貯水槽四カ所、大鳥居六基、境内各所に植樹等その他色々の事業をいたしました。

(以下次号へつづく)

町会活動の概要

平成4年1月から平成4年5月中旬まで

総務部

二月一三日 真浄寺門前、公道上に区役所が計画していた緑地帯の設置は、交通の面から見ても支障を来たす要因に成るとの結論から再三に亘り区役所側に工事の中止を申し入れを行って来たが本日区役所土木部より正式に中止の回答を受けた。

三月四日 向丘地区町会連合会、臨時会議議題、「区役所シビックセンター建設に伴う電波障害について」

建設に伴う障害地域については、あらかじめ区役所側がNHKに調査を依頼した資料に基づいたもので、この範囲に当町会の一部が含まれる(中部の一部分と北部の一部を除くほぼ全域)

この調査に基づく地域は、テレビの映像の不鮮明をもたらす影響が予測されるため、その解消

策として東京ケーブルの有線を付設する事になったが、対象戸数が極めて多いことから町会単位を折衝の対象としたいという区役所側の考えを検討した。

三月二日 シビックセンター建設に伴う電波障害の除去対策について、地域担当役員に説明を行う。

三月五日 平成三年度、文京区区政功労者に役員の中から次の二名の方が選ばれましたのでお知らせ致します。

地域自治振興功労者 南部役員 池田 暉氏
民生委員功労者 北部役員 木内裕子氏
三月二日 地下鉄、本駒込駅工事対策協議会開催される。

五月六日 向丘地区町会連合会、総会開催される。

四月一日 シビックセンター建設に伴う電波障害の対策について、担当役員と区役所担当職員、東京ケーブル職員との間で意見交換を行い、今後の処置に遺漏の無い様申し入れる。

☆地域担当役員の一部変更のお知らせ

南部 退任 半沢義吉氏
就任 志村三津雄氏 2月付
退任 刀禰忠雄氏
就任 鈴木俊定氏 6月付

防火防災部

二月一八日 本郷防火協会、理事会開催される。

三月一日 町会主催による防火訓練開催
開催場所、向丘高校正門内広場、時間、午前10時から正午まで、

今回の防火訓練は町会の自主企画により、消防署、区役所防災課に指導方をお願いして実施する事が出来ました。

この訓練には、大勢の皆さんのご参加を頂きました。大変有意義な経験を取得して戴けた事と思います。

今回は、皆さんがお持ちの消火器を持参して貰い、ご自分で消火を経験して戴きました。今後機会をみてこの様な訓練を企画したいと考えておりますが、本来的には区役所並びに消防署が主催する防火防災訓練に1人でも多くの会員の皆さんが進んでご参加下さる事が町会としては一番望ましいのです。

回覧によってお知らせ致しますので、是非その節にはご参加下さい。

四月一九日 本郷防火協会、理事会開催される。

防犯部

四月二〇日 駒込防犯協会、総会開催される。

防犯については、皆様常日頃から十分に用心されている事と思いますが、当町内では空き巣の被害が多発しております。

留守になさる場合には施錠を特に念入りに行つて下さい、また、在宅でも2階に居る様な場合には施錠をしておく必要があります、最近でも町内で在宅中に空き巣の被害に遭つた例が数件あります、油断は禁物、くれぐれも注意を怠らぬ様にして下さい。

交通部

三月二六日 駒込交通安全協会、理事会開催される。

四月六日から四月一五日まで「春の交通安全運動」が実施される。

この運動の旬間中には、町会交通部員、婦人部、更に友の会の会員の皆さんが連日街頭において交通マナーの普及と指導に努めて戴きました。交通の安全は一人一人の注意が一番肝心、交通事故の被害に遭つた人の確率は五人に一人とか言われています、事故に遭わない事故を起こさないをモットーに各自が注意しましょう。

五月二一日 駒込交通安全協会、総会開催される。

衛生部

五月中 文京区役所から殺虫剤「スミチオン」が

届きましたので各地域の担当役員を通じて配布しました。

文化部

☆前号(31号)の文中に誤字がございました、本号にて訂正させて頂いておりますのでご容赦下さい。訂正箇所、蓬萊界限(その二十七)一頁、二段目、14・15行目、誤、四方節 正、四方拜、誤、地球節、正、地久節、

一月一五日 成人式をお迎えの方に祝品贈呈会員のご家族で本年成人式をお迎えに成られた方のお名前は左記の通りでございます。

慶事を祝し町会よりささやかではございますが、祝品をお贈りさせて頂きました。

川瀬貴之様 白井哲也様 細川貴信様
江波戸正樹様 平野喜嗣様 小池泰輔様
青樹伸和様 坂田良忠様 国井秀文様
五十嵐敏恭様 伊藤直子様 藤関淳子様
室川智子様 山口 有様 恩田京子様
芝田庸子様 戸田知子様
☆ 小学校へのご入学おめでとうございます。本年、小学校へご入学されたお子様のお名前は左記の通りです、町会より心ばかりの祝品をお贈りさせて頂きました。

亀田清夏君 猪態健一君 佐藤祐基君

婦人部

前婦人部長、金子貞子様には本年一月六日薬石の効も空しくご逝去なさいました。心より哀悼の意を表する次第でございます。

二月二五日 金子前婦人部長の後任として、婦人部の推挙を受けて富永光子様が婦人部長に就任いたしました。

四月五日 「春の交通安全運動」の啓蒙パレードに部員参加する。

五月一日 つつじ祭り期間中に催した「甘酒茶屋」を婦人部全員が一日奉仕いたしました。

青年部

二月一六日 「餅つき大会」すっかり皆さんになじまれてきた事は青年部として大変嬉しく感じております。

計報

当町会にお住まいの方で本年一月から五月中旬までの間にご逝去された方々のご氏名は左記の通りでございます。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福を祈念申し上げます。

金子貞子様 栗島菊二様 川口 勉様

編集委員 前号と同じ